

日本舞踊・上方舞 山村流六世宗家

アート・アセンブリー

山村友五郎の世界

～Dance & talk “上方舞” tonight !!～



OSK 日本歌劇団

山村友五郎



高世麻央

<ナビゲーター>



桂吉坊(落語家)

【日 時】2015年12月22日(火)

17:30～開場 18:00～開演 19:30～出演者との交流会(立食/20:30頃終了予定)

【演目(予定)】上方舞「上方唄 愚痴」「地唄 八島」

ほか、OSK 日本歌劇団 高世麻央らによるステージ & 出演者によるトークをお楽しみください

【場 所】クラブ関西 大阪市北区堂島浜 1-3-11(ANAクラウンプラザホテル大阪西隣)

【参加料】賛助会員様 6,000円 賛助会員様以外 8,000円

【お申し込み】参加申込書をFAXにて受付 【お問い合わせ】関西・大阪 21世紀協会 06-7507-2006

主催 公益財団法人関西・大阪21世紀協会 協力 一般社団法人クラブ関西

「アート・アSEMBリー」は、大阪・関西を拠点に活動する優れたアーティストを皆様にご紹介する試みです。

本年は上方舞・山村流の家元であり、上方歌舞伎や文楽、OSK日本歌劇団の構成・振付、舞台指導など多方面に活躍をされる山村流六世宗家 山村友五郎さん(平成26年度大阪文化祭賞最優秀賞受賞)をお迎えます。

OSK日本歌劇団(平成22年度同最優秀賞受賞)からは、トップスター高世麻央さんらが出演されます。

また、上方舞とゆかりの深い上方落語の桂吉坊さんがナビゲーターをつとめます。

公演終了後には、出演者との交流会を開催します。是非この機会に芳醇な上方芸能をお楽しみください。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

山村流六世宗家 山村友五郎

昭和39年 大阪に生まれる。祖母の四世宗家・若、母・糸のもと、幼少より修行

平成4年 六世宗家山村若を襲名

平成18年 「山村流創流二百年舞扇会」を開催

平成26年 三代目山村友五郎襲名

〈主な受賞歴〉

平成3年大阪文化祭賞奨励賞

平成13年文化庁芸術祭新人賞

平成15年舞踏評論家協会新人賞

平成18年芸術選奨文部科学大臣新人賞

平成19年文化庁芸術祭優秀賞

平成20年日本舞踏協会 花柳壽應新人賞

平成20年日本舞踏協会 花柳壽應新人賞

平成21年大阪文化祭賞

平成22年芸術選奨文部科学大臣賞

ベスト・ファーザー賞in関西

平成26年日本伝統文化振興財団賞

平成27年大阪文化祭賞最優秀賞

日本芸術院賞



(写真 篠山紀信)

大阪文化祭賞最優秀賞授賞理由

「三代目山村友五郎・四代目山村若 襲名披露舞扇会の成果に対し」

山村流六世宗家が流祖の名跡山村友五郎を120年ぶりに復活して三代目を襲名し、長男侑の四代目若襲名と合わせて披露する記念の舞踊公演「舞扇会」を平成26年9月に計3日間計6公演、国立文楽劇場で開催した。流儀の一門ばかりか花柳壽輔や井上八千代ら日本舞踊界を代表する各流派家元も招いて「邦楽の祭典」ともいえる花も実もある舞台を展開したことは、上方舞のよさを一般に広く再認識させるとともに、とかく停滞ぎみな大阪の伝統文化を活性化し、将来に向けて明るい道筋を切り拓く上で意義深いものであった。よってこの「舞扇会」の成果に平成26年度大阪文化祭賞最優秀賞を贈る。

三代目友五郎は昭和39年大阪市出身。山村流に江戸時代より伝わる座敷舞と歌舞伎舞踏の二つの流れを大切に、伝統ある上方舞の継承に力を注いできた。平成22年には芸術選奨文部科学大臣賞受賞。一門の指導育成に加えて、東京の舞踏家と「五耀会」公演を定期的で開催。上方歌舞伎や文楽、OSK日本歌劇団等の振付、舞踏指導など多彩で意欲的な活動は全国的にも注目される。いままさに旬の人である友五郎の今回の受賞は大阪に根づいた伝統文化の他ジャンルにも多大な波及効果が期待される。

OSK 日本歌劇団

大正11年、松竹楽劇部として大阪・天下茶屋に創立、当時から、宝塚歌劇団、松竹歌劇団(SKD)とならぶ日本の三大少女歌劇のひとつとして存在した。戦前より宝塚歌劇団とは同じ関西でしのぎを削り、「歌の宝塚、ダンスのOSK」として並び称され、特に「ロケット」と呼ばれるラインダンスには、揃いとスピードには定評があった。

大正15年に大阪松竹座で始まった「春のおどり」は浪速の春の風物詩と言われ、「春のおどりはヨーイヤサー！」の掛け声とともに幕が開く、豪華絢爛なレビューは大変な評判を呼んだ。「春のおどり」は一度なくなったものの、2004年に大阪松竹座で復活しそれ以降、毎年上演している。なお、この「春のおどり」は、山村流の基盤を創った初代山村友五郎の座敷舞や舞踏の系譜につらなるものと言われる。

また、トップスター 高世麻央のお披露目公演「レビュー 春のおどり」では、第1部「道頓堀開削400年 浪花今昔門出脈」において山村友五郎が構成・演出・振付を行っており、山村流とゆかりが深い。平成22年度大阪文化祭賞最優秀賞受賞ほか。

桂吉坊

昭和56年 兵庫県西宮市に生まれる。

平成11年 桂吉朝に入門。「岡町落語ランド」において初舞台

平成12～15年 桂米朝のもとで内弟子修業。卒業後、古典落語を中心に舞台を重ねる

平成20年 映画デビュー(映画「能登の花ヨメ」)

平成23年 咲くやこの花賞大衆芸能部門受賞 平成26年 第9回繁昌亭大賞奨励賞受賞